

令和8年2月20日

## 令和7年度とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	杉並区立西荻北子供園
所在地	杉並区西荻北1-19-22

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

水

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、園の特色など)

水は、遊びや生活の場で、欠かすことのできない自然物である。

子どもたちは、日常生活の場面では、手洗い、うがい、食事などの際に、必ず触れるものである。

また、雨や雪、水たまりなどの事象も、水の一部である。

遊びの場面でも、植物に水遣りをしたり、砂場で使ったり、夏には水遊びで、水の感触を楽しんだり、容器に入れて見立てたり、色水遊びを楽しんだりもする。

自然物でもあり自然環境でもある『水』に焦点を当てて、幼児が水にどうかかわるのか、また、水の特性から、どのようなことに興味・関心を示し、どのような遊びに発展していくのかを探るために、テーマを『水』に設定した。

### 2. 活動スケジュール

・3歳児、4歳児、5歳児のそれぞれの幼児が、五感を通して水と関わっている様子や科学的な気づきやひらめきから水を使った遊びに発展していった様子を記録にとる。そして、全保育者で協議を行い、幼児の楽しんでいること、つぶやきや気付きを読み取ったり、環境について検討したりした。

・年に3回講師を招いて、水に関わる保育実践や事例検討のまとめ方などについてご指導を受けた。

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

・幼児が興味関心をもち、主体的に試したり工夫したりしながら水の特性に気づけるような素材や道具を用意する。また、幼児が取り組みやすい場の広さや高さなどに配慮する。

・透明な水槽    ・透明の同じ大きさのコップ    ・たらい    ・ゲームボックス    ・幼児用机

・透明なプラスチック製の廃材（ペットボトル、トレー、シートなど）    ・洗面器    ・トロ舟

・油性ペン    ・はさみ    ・トイ    ・砂場遊具

#### 4. 探究活動の実績

##### <活動の内容>

- 5月（5歳児）砂場でトイを使って水を流して遊ぶ  
（3歳児）砂場で掘った穴に水を入れて楽しむ  
タライの水に触れて遊ぶ
- 6月（4歳児）水遊び～トイをつなげて水を流して遊ぶ  
（4歳児）つくった船を水に浮かべてみよう
- 7月（5歳児）つくった魚を水中に入れてみよう ★**  
（3歳児）寒天で水を固めて、感触を楽しむ
- 9月（3歳児）氷を触ってみよう
- 1月（4, 5歳児）氷の実験 どうしたら氷ができるかな？  
（3歳児）水とお湯を触ってみよう

##### <活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と保育者との関わり>

事例 5歳児 「つくった魚を水中に入れてみよう」の様子

- ・水槽の中に魚を入れて見ていると、見る角度によって、数が増えて見えて「横から見ると、2匹に見える！」「本当は一匹しかいないのに、なんでだろう？」と不思議がっていた。
- ・いるはずの魚が見えなくなった子もいて、「全然みえないよ。」「絶対いるのに、なんで見えなくなっちゃったんだ？」と見る位置によって見え方が変わることに気付き、友達同士で伝え合い、面白さや不思議さを共有していた。
- ・軽い透明トレーでつくった魚が沈んでいく様子を見て、「重たくないのに、なんでしずんじゃうんだろう？」と不思議がっていた。何度も魚を取り出したり入れたりを繰り返して試し、魚を水の中に入れる向きによって沈む速さが違うことを発見していた。
- ・幼児の「どうして？」という疑問に、保育者は「どうしてだろう？」と一緒に不思議がることで、幼児なりに今までの経験から考えたことを伝え合っていた。

## <活動の様子>

活動の様子が分かる写真を2枚以上貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

### 5歳児「つくった魚を水中にいれてみよう」

透明のプラスチックシートに油性ペンで水の中の生き物の絵をかき、切り取ったものを水槽の中に入れて泳がせた。見る角度によって、見え方が違うことに気付き、楽しんだ。

チンアナゴが  
2ついる！



僕の方は全然見えなく  
なっちゃったよ！

えー?!絶対いるのに  
何で見えなくなっちゃったんだ?!

### 4歳児「つくった船を浮かべてみよう」

空き箱を使って船づくりを楽しんでいた。トロ舟に水ををはり、つくった船を水に浮かべてみた。素材や形によって、浮いたり沈んだりすることに気付いていた。

浮かぶかな?



これは、だんだん  
沈んでいく・・・

どうしてかな?

### 3歳児「氷を触ってみよう」

暑い夏に、冷凍庫で製氷皿に入れてつくったキューブ型の氷をタライに入れて、氷の変化や感触を楽しんだ。

固いね!

冷たーい!



手がびしょびしょに  
なっちゃった!

ちょっと氷がなくなってきちゃった...

## 5. 振り返り

(振り返りによって得た保育者の気づき)

- ・「なぜだろう?」「どうしてこうなるのかな?」と疑問をもち、物事に取り組んで探究しているときには、必ずしも解決や正解を導くのではなく、その過程で誰かと一緒に面白さや不思議さを共有することが大切である。
- ・日頃から直接的な体験をたくさん積み重ねて生活することで、疑問に対して思いを巡らせて、規則性に気付いたり、比較したり、因果関係を考えたり、仮説を立てたりして、幼児なりに論理的思考力を働かせていることが分かった。
- ・幼児が心を揺り動かされるような体験ができるように、意図的に環境を設定し、幼児と一緒に面白がったり、不思議がったり、さらには、もっと深く考えるきっかけとなるような問いかけをすることが大切である。
- ・水遊びというと、プール遊びや砂(泥)遊び、色水遊び、シャボン玉遊びが主流だが、活動のテーマを「水」に設定したことで、水遊びには様々な種類や広がりがあることが分かった。

以上